

授業科目	経済学入門				単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	CH10405J	
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	谷崎 太							
授業概要	<p>経済学は企業の経営戦略や会計、流通・マーケティング、生産活動などの理論的基礎であり、私たちの日々の生活に密接に関わっている。本講義では、経済学の全体像、マクロ経済学およびミクロ経済学における基礎知識を概観する。なお、学修効果に配慮して進行の順序を入れ替える場合がある。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済学の全体像を説明できる。 ・ マクロ経済、ミクロ経済の基本概念、基本的語句が説明できる。 ・ 経済のシステム(仕組み)とメカニズム(機能)について説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	50	0	0	50	0	100	
知識・理解 (DP1-1)		50			50			
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 経済学の全体像を説明できる。 2. マクロ経済、ミクロ経済の基本概念、基本的語句が説明できる。 4. 経済のシステム(仕組み)とメカニズム(機能)について説明できる。 4. 時事問題等について、経済学の視点で理解しようとする姿勢が認められる。				1. 経済学の全体像を説明できる。 2. マクロ経済、ミクロ経済の基本概念、基本的語句が説明できる。 4. 経済のシステム(仕組み)とメカニズム(機能)について説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	ガイダンス 諸注意、授業計画、学習方法等について解説する。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
2	経済の基本問題 希少性、資源配分問題、市場経済・計画経済等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
3	経済循環の構造 経済主体の構成と役割、市場機構の仕組み等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
4	経済の金融構造 フローとストック、直接金融と間接金融等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
5	国民所得の概念 マクロ経済の経済主体、付加価値、三面等価の原則等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
6	均衡所得の決定① 有効需要の原理、消費関数、投資関数等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
7	均衡所得の決定② 消費・投資関数と均衡国民所得等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
8	IS-LM 分析① 貨幣需要と貨幣供給、IS 曲線、LM 曲線等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
9	IS-LM 分析② S-LM 分析による財政・金融政策の目的・効果等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
10	消費者行動の理論 消費者行動の目的と制約、効用・無差別曲線、最適消費等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
11	生産者行動の理論 生産者行動の目的と制約、等量曲線、生産可能曲線等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
12	市場経済と資源配分の効率性 消費者余剰、生産者余剰、パレート最適等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
13	市場の失敗 外部性と経済の非効率性、外部性の内部化等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
14	国際貿易の仕組み 比較優位と貿易、国際分業、保護貿易と関税等について学ぶ。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30

15	まとめ まとめと振り返りを行う。	授業 演習	配布資料、ノート等を整理し、 復習すること。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	特になし。			
テキスト	必要に応じて資料等を配布する。			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	別途紹介する。			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	授業で配布された資料および解説した事項等をノートやバイダを使って整理し、適宜参照して復習に役立てること。			

達成度評価に関するコメント	時事問題等について、経済学の視点で理解しようとする姿勢を身につけることが期待される。
---------------	--